

1 国語に関する調査

【特長】

- 文章を読み、その文章の特徴を理解することができている児童が多く見られた。ペアやグループでの話し合いの場を多くもち、互いの文章を読んでよさを認め合ったり、アドバイスをし合ったりする学習を積み重ねてきたことがこの結果につながったと考える。
- 各学年で配当されている漢字の送り仮名を、正しく理解している児童が多かった。

【課題】

- 提示された資料から必要な情報を読み取り、条件に合わせて要約して書く記述式の問題を苦手としている児童が多かった。引き続き多様な考えや表現方法にふれる機会を多くもったり、書く力を養う学習に取り組んだりしていきたい。
- 相手や場に応じた言葉遣いについて理解し、敬語を適切に使うことに課題が見られた。正しい敬語を使えるようになるために、日頃から、相手や場に応じた適切な言葉遣いで伝えられるよう意識させることが必要である。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、比例や反比例の意味や性質を正しく理解することができた。また、二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを、式や言葉で記述することができた児童が多かった。
- 加法と乗法の混合した計算をしたり、分配法則を用いて計算したりする問題は多くの児童ができていた。四則計算の反復練習に継続して取り組んでいることの成果と考えられる。

【課題】

- 図形の意味や性質を基に、示された図形の角の大きさを求める問題に課題がある。問題の意図を理解した上で、示された図形がどんな図形になるのかをイメージする力を育てていく必要があると考えられる。
- $(2 \text{ 位数}) \div (1 \text{ 位数})$ の筆算について、図を基に各段階の商の意味について考えることへの理解に課題がある。反復練習で計算力は身に付いてきたが、答えを出すまでの過程として、計算の手順についての理解を深めていく必要がある。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 「将来の夢や目標をもっている」「人の役に立つ人間になりたい」と回答している児童が多いことから、自分の将来に対して希望をもち、人との関わりを大切にしようとする気持ちが育まれていると考えられる。
- いじめに対しては「どんな理由があってもいけないこと」と多くの児童が捉えており、また「学校へ行くのは楽しい」と回答している児童が多いことから、互いのよさを認め合い、思い合って日々生活しようとしていると考えられる。

【課題】

- 授業以外で勉強をしている時間が「全くない」を含め、1日1時間未満と回答している児童の割合が高い。読書をする時間も少ないことから、活字離れや放課後の過ごし方に留意する必要がある。
- 「国語の勉強は大切だと思う」とほとんどの児童が回答しているが、今回の国語や算数の問題で、答えを文章で書く問題に対して「まったく解答しなかった・途中であきらめた」と回答した児童が多かった。文章の組み立てを工夫して表現することに苦手意識をもつ児童が見受けられる。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 朝の時間に学校全体で取り組んでいる「書くトレーニング」や「計算のトレーニング」を積み重ねることで、国語や算数の基礎的な知識・技能の定着を図っていく。
- 読書タイムや学校図書館の利用・活用を計画的に行い、自発的な読書活動の充実を図る。
- 「いのち」「こころ」「ことば」の3つを合言葉に、お互いを思いやり、尊重し、生命や人権を大切にする心を育成する指導の継続を図っていく。
- ペア学年を意識した教室配置を行うことで、異学年間の自然で自主的な交流が生まれている。上学年、下学年ともに、お互いを意識し思いやる交流を通して、自分を見つめ直すよい機会になるようにしていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 心が温かくなる言葉や相手を傷つけない言葉について指導をしています。ご家庭と学校とで協力し、お子様が正しい言葉遣いを身に付けられるようにしていきましょう。
- 読書や家庭学習について、お子様が自分で計画を立てて意欲的に取り組むことや習慣化へのご協力をお願いします。
- 地域の皆様におかれましては、旗振りや登下校の見守り、教育活動の支援等、ご協力いただきましてありがとうございます。今後も、地域で育つ子どものサポートをよろしくお願いします。